事例No.	2393
公表年度	R5
団体の属性	一般市
団体名	兵庫県朝来市

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・関係人口 ・少子化・人口減少

事例種類	集落対策・集落支援員

事例内容・タイトル

地域自治協議会と事務局機能としての集落支援員活用

出典

集落支援員　最近の取組事例紹介　令和５年度

兵庫県　朝来市

人口 28,989人（高齢化率35.7%）※R2国調　**過疎区分** 一部過疎　**設置状況** 専任　27名　兼任０名



集落対策と集落支援員活用のポイント

- 地域経営の基盤となる「地域自治協議会」の活動を財政面・人材面の両面から支援。
- 協議会の活動費については、地域自治包括交付金により支援。
- 事務局機能の担い手については、地域の実情と行政の動きをよく知る行政出身者等を集落支援員として設置。

市における集落対策の取組

○平成19年以降、**地域自治を担う組織として、小学校区単位の地域自治協議会の設立を支援**。現在では、11の協議会が市内全域をカバーしている。

○平成20年以降、地域の特性に応じた魅力ある地域協働のまちづくりを推進するため、地域自治協議会に対して地域自治包括交付金を交付。

○地域自治協議会の**事務局機能の担い手**として、集落支援員を活用。地域の実情や行政の動きに詳しい**行政出身の支援員**も積極的に採用。



集落支援員活用事例

活動エリア　生野地区（小学校区）

属　性　60代男性　元市役所職員

活動内容



地区の基本情報
- 人　口：2,338人
- 世帯数：1,086世帯
- 高齢化率：43.0%（R6.2末時点）

○いくの地域協議会の事務局長として活動。運営委員会で、自治協議会を構成する行政区等の意見のとりまとめを行いながら、自治協議会の事業を進めている。

○地域自治協議会の活動指針となる地域まちづくり計画を改定。

○ゲストハウスを開設する地域おこし協力隊員を支援。


協議会のミーティング


ゲストハウス